

学校だより

市立札幌豊明高等支援学校
令和8年6月19日発行
第4号

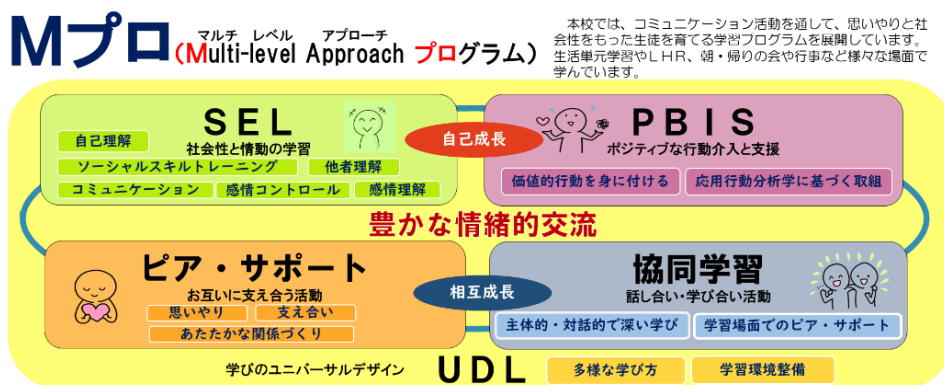
社会性と思いやりを仲間と学び合う ～「Mプロ」の取り組み～

Mプロ推進委員会 福澤 広基

本校では2019年度から「豊明版包括的生徒指導（Mプロ）」を導入しています。私自身、見学に来た他校の先生や生徒に「豊明と言えばMプロ」と言われることも少なからずあり、少しずつ認知されてきていると感じています。このMプロは、「魅力(Miryoku)ある学校づくりプロジェクト、MLA（マルチレベルアプローチ）プログラム」の本校独自の略称です。

Mプロのプログラムは4つで、①感情のコントロールや傾聴スキルを身に付ける「SEL」、②価値的行動を身に付ける「PBIS」、この2つが個人的発達です。さらに、③仲間同士で支え合い、励まし合う意義を学ぶ「ピア・サポート」、④社会的発達として対人関係能力と真の学力を身に付ける「協同学習」、この2つが相互的発達であり、これらの4つのプログラムはお互いに補完する関係にあります。また、⑤「学びのユニバーサルデザイン（UDL）」で学習環境を整備し個別最適な学びと学習者主体の学びの実現を目指します。それらの基盤として大切にしているのが、⑥「豊かな情緒的な交流」で、自分はこの場所にいても良いという安心感や信頼感が生まれる学校風土の醸成を目指しています。この「4つのプログラム（SEL、PBIS、ピア・サポート、協同学習）」と「UDL」、そして、「豊かな情緒的な交流」で豊明版包括的生徒指導（Mプロ）は構成されています。

ここでは、ピア・サポート活動の一部を紹介します。4月、入学した新入生に対して、2年生が「校舎案内」として、新入生に各教室やどのような場面で使用されているかを説明しています。3年生は「豊明あるある」という活動で豊明高等支援学校の行事や教師、地域の紹介することで新入生が少しでも早く学校に慣れるための取り組みを行っています。こうして先輩からサポートを受けた1年生が、9月のオープンスクールで中学3年生に対して本校の紹介や専門教科の体験をサポートしていきます。サポートされる側は、年齢の近い先輩からのサポートにより緊張が和らぎ質問がしやすく、サポートする側は、後輩から感謝され自己有用感が上昇するなどの良い効果が生まれます。このような良い循環が、Mプロを導入してから、様々な場面で見られるようになってきました。こうした活動の積み重ねは自分の人生をより良く生きようとする生徒を育て、社会のウェルビーイングを実現することにつながっていきます。



7月の主な予定	
1（水）	1 年専門教科参観日、スクールカウンセラー来校日
3（金）	3 年前期現場実習終了
5（日）	高等養護学校サッカー大会（新篠津）
6（月）	グッジョブ週間（～10 日）
8（水）	1 年保健体育外部講師（6 校時）、スクールカウンセラー来校日、 豊明フェア in 元気ショップ（～20 日）、学校見学会③
10（金）	見学旅行報告会（4・5 校時、2 年授業参観）
13（月）	アートの日
15（水）	スクールカウンセラー来校日、1 年保健体育外部講師（5 校時）
16（木）	4 時間日課、生徒会役員選挙期日前投票（昼休み）
17（金）	4 時間日課、生徒会役員選挙、認証式（4 校時）
21（火）	1 年職業外部講師（5 校時）
22（水）	スクールカウンセラー来校日（午後）
23（木）	グッジョブレク
24（金）	2 時間日課、1 学期終業式
25（土）	特別支援学校フットサル大会（北翔大学体育館）
27（月）	百合が原 P-PFI 全体会
8月の主な予定	
19（水）	2 学期始業式、体重測定、2 時間日課、スクールカウンセラー来校日（午前）
21（金）	4 時間日課
24（月）	全学年授業参観日（5 校時）、保護者懇談会、百合が原 P-PFI 全体会、 3 年職業外部講師（1 校時）
27（木）	避難訓練②
31（月）	2 年現場実習①開始（～9 月 4 日）、3 年後期現場実習開始（～9 月 11 日）

〈 お知らせ 〉

札幌市教育委員会では、昨今、全国的な課題となっている教職員の長時間勤務等への対応策として、夏季休業期間中に「夏季休校日」を設定することとしております。

これに伴い、本校では、8 月 12 日(水)、13 日（木）、14 日（金）の 3 日間を夏季休校日とし、年末年始の休日等と同様に对应させていただく予定ですので、御理解と御協力をお願いいたします。

なお、夏季休校日の取組につきまして、何か御不明な点等がございましたら、札幌市教育委員会教職員課労務係（211-3853）にお問い合わせくださいますようお願いいたします。